

5. 事業が長期間要している理由は？

元々が長期計画

不測の事態により長期化

一定の治水効果をあげるためには、6,340mの河道改修が必要であり、また調節池や排水機場などの大規模な施設整備も必要なことから、長期計画となっている。

邑楽東部第二排水機場



北調節池



北調節池排水機場



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし 事業計画の変更 スケジュールの変更

- ・本事業は、河道改修や調節池・排水機場の整備など総合的な治水対策によって、未だ内水被害を受けている流域の浸水被害を軽減するための事業である。
- ・現在までに板倉ニュータウン区域を含む下流工区が完了し、延長ベースで約7割の進捗が図られている。
- ・板倉ニュータウン内には昨年度新たに準工業地域が設けられ、住宅や農地の保全のほか土地の高度利用や生産性の向上、交通確保などのため、より一層治水安全度を高める必要があることから、事業継続とする。
- ・今後の実施にあたっては昨年度から事業計画の見直しに取り組んでおり、排水機場の運用方法改善による河道拡幅・護岸計画の見直しによってコスト縮減を図っている。
- ・今後は、見直し後の計画を基に改修事業を進め、平成25年度の完成を図りたい。